

# 南の風

—第7号—

昼夜の寒暖の差もだんだんと大きくなり、少しずつ冬の訪れを感じる頃となりました。全国的に新型コロナウイルスの感染者が減少し、世の中は日常を取り戻しつつありますが、本校では、感染の再拡大が起きないように、基本的な感染対策をしっかりと続けながら、教育活動を進めています。

今月は、ロボットプログラミング選手権と、先日行われた「重心文化祭」の様子についてお伝えします。

## 病弱教育を考える

### ロボットプログラミング選手権 2021（病弱教育部門）への取り組み

3回目となるロボットプログラミング選手権（ロボット相撲）に今年もエントリーしました。

今月号は小学部と中学部の取組の様子を特集します。

#### 小学部

総合的な学習の時間のプログラミング学習としてロボットプログラミングを学習しました。初めてプログラミングに挑戦した子どもたちは、何をどうすればロボットが動くのか、右も左も分からないところからスタートしました。自分たちの身近にあるロボット掃除機やゲームなどから連想し、「プログラミングとはどういうものなのか」、「仕組みはどうなっているのか」等を考えたり学習したりしながら、一からプログラムを作りました。初めは、思うように動かなかったり、土俵から出てしまったりしましたが、何度も何度も失敗してはやり直す作業を繰り返していく中で、床センサーや対物センサーがある意味に気づき、自分たちの力で、土俵から出ずに相手のロボットを攻撃できるプログラムに仕上げました。

#### 中学部

技術・家庭科技術分野の「計測・制御のプログラミングによる問題解決」の授業に関連させて、ロボット相撲で対戦するロボットのプログラム作りを全員が体験しました。

どのようにプログラムを組んだら土俵の白線からはみ出さずにロボットを自走させられるか？何度も試験運転しながら、一人ひとりがプログラムを完成させました。その後、中学部内で選考会を行い、中学部の代表3名を選出しました。一人ひとりが試行錯誤してプログラミングをしてきたので、土俵からはみ出さずにうまく対戦する他の人のロボットを見て、互いに良い刺激を受けていました。

中学部選考会終了後には、生徒から「ロボット相撲のプログラミングが楽しかった」「選考会に向けて対戦をイメージしながらのプログラミングは熱中できた」など感想が寄せられました。

10月6日に行われた関東甲信越地区大会では、中学部代表のジャポニカ学習帳チームが3位に入賞し、全国大会出場を決めました。全国大会は、令和4年2月1日に行われます。頑張ってください。

## 重心文化祭

今年度重心部門は、他学部と合同での文化祭には参加できませんでしたが、文化祭の代替授業として、10月21日から11月11日まで、重心施設内プレイルームにて部屋ごとに学習発表を行いました。

すみれ部屋は「力を合わせてクッパを倒そう！～ピーチ姫を救え～」たんぼぼ1部屋は「おむすびころりん」たんぼぼ2部屋は「2部屋戦隊ひだまりレンジャー」たんぼぼ3部屋は「ひだまりンピック」と各部屋が異なるテーマのもと、1学期の後半から運動の授業で実施しているボーリングの学習発表を行いました。手や足を使って、ボッチャボールや鈴のついたボールを見事に転がし、当日、参観くださった看護課、支援課、専門職の方々に大きな声援、拍手をいただくことができました。



たんぼぼ3部屋の発表の様子



すみれ部屋の発表の様子

### 12月行事予定

2日(木) 高等部入学者選抜

3日(金) 高等部入学者選抜予備日

6日(月)～10日(金)

個人面談期間(小学部1組・中学部)

6日(月)～17日(金)

個人面談期間(小学部2組)

15日(水)

健康教育「食育」(小学部2組)

20日(月)

健康教育「食育」(中学部)

23日(木) 午前日課

24日(金) 午前日課 終業式

25日(土)～1月7日(金)

冬季休業

28日(火) 閉庁日